

日本選挙学会

2003年度総会議事録・第1日

2003年5月17日（土）

於：石川県立社会教育センター4F講堂大ホール

1. 理事長挨拶

- ・小林良彰理事長から挨拶があった。

2. 河村和徳大会運営委員長から開催校を代表して挨拶があった。

3. 2002年度決算・監査報告の件（配布資料参照）

- ・平野浩及び森脇俊雅両監事による会計監査を受けた2002年度決算案の趣旨説明が河野武司事務局長によってなされ、経常部分総額¥12,728,701（当初予算¥12,207,059）、特別会計の年報発行準備金¥10,207,213（当初予算¥10,207,819）からなる2002年度決算案が賛成多数で承認された。
- ・河野事務局長より2002年度の最終会費納入率が、73.4%であることが報告された。

4. 2004年度総会・研究会の件

- ・2004年度総会・研究会は2004年5月15日（土）・16日（日）に中央大学で開催されるが、大会開催校分の理事として、総会に先立ち開催された理事会で指名されたステューブン・リード同大学教授の理事就任が総会で承認された。

5. 2005年度・2006年度大会開催校の件

- ・2005年度大会・研究会開催校として愛知学院大学を、また2006年度大会・研究会開催校として上智大学を理事会で内定したことが報告された。

6. 国際交流の件（配布資料参照）

- ・国際交流の一環として、韓国選挙学会との間で毎年1名ずつの報告者交流を行うことが小林理事長より報告され、その実施に拘わる規程として作成された「日韓選挙学会交流規程」（韓国選挙学会からの派遣された報告者に対して10万円を経費として支給することなどを規定）が、総会で承認された。

7. 新入会員の件

- ・17日昼の理事会で新たに入会が承認されたのは10名であることが報告された。
- ・上記の入会により本日現在の会員数は538名（内法人会員1社、休会4名含む）となった。

8. その他

- ・SARSの影響で、台湾からの報告者3名が、報告を辞退されたことが報告された。

日本選挙学会

2003年度総会議事録・第2日

2003年5月18日(日)

於：石川県立社会教育センター4F講堂大ホール

1. 2003年度予算案の件(配布資料参照)
 - ・経常部分総額¥13,486,225、特別会計の年報発行準備金総額¥10,209,213の予算案が新事務局より提案され、承認された。
2. 各委員会活動報告
 - ①年報編集委員会
 - ・池田謙一年報第19号編集委員長より2004年2月末までに発行予定の年報第19号の編集作業の進捗状況について説明があった。
 - ②選挙管理委員会
 - ・和田寛伸委員長から、本年秋に実施される2004-2005年度期を任期とする理事選挙について、選挙権・被選挙権者(本年7月1日までに本年を含めて過去の会費を完納している正会員)、及び投票方法(10月10日までに投票用紙を有資格者に郵送し、8名連記の郵送投票は11月10日までに完了)などについて説明があった。
3. 年報第20号編集委員会の件
 - ・副委員長の岩淵美克理事から、18日昼の理事会で承認された年報第20号編集委員会の委員について紹介があった。
4. 『選挙学会紀要』発行の件(配布資料参照)
 - ・学会の財政状況と「より開かれた学会」という今期理事会の方針を受け、会員に研究発表の機会をより提供するため、『選挙学会紀要』を新設し、年2回(5月と11月)することが池田編集委員長より報告された。
 - ・『選挙学会紀要』の発行に伴い、これに関して新設される編集内規が承認された。

『選挙学会紀要』編集内規

第1条 編集委員会は『選挙学会紀要』編集小委員会を設置できる。

第2条 編集小委員長ならびに編集小委員会編集委員については、編集委員長が会員の中から指名し、理事会で承認する。

本内規は、平成15年5月18日より発効する。
 - ・理事会によって承認された以下の編集小委員会委員について、池田編集委員長より紹介があった。小委員会委員長 桑原英明理事
委員 池田謙一理事、佐藤祐司会員、森正会員、
小林良彰理事長、河野武司事務局長
5. 新入会員の件
 - ・18日昼の理事会で新たに入会が承認されたのは5名であることが報告された。
 - ・上記の入会により本日現在の会員数は543名(内法人会員1社、休会4名含む)となった。